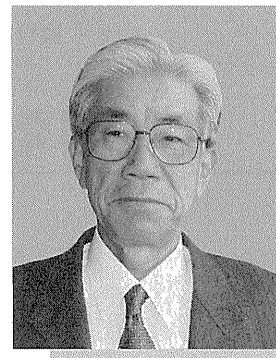


巻頭言**年頭のご挨拶****玉 光 弘 明**

平成 15 年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年夏ごろ、わが国の景気は底入れしたといわれましたが、依然として、厳しい状況が続いております。小泉内閣が構造改革を打ち上げてから 1 年半経ちますが、改革の基本となる不良債権処理が思うように進んでいないところに、テロや世界的な経済不況が追い討ちをかけているといわれています。政府は改革の実効を挙げるため、さらに細かい行動計画として昨年 10 月末、企業再生対策を含む総合デフレ対策に続いて、4.2 兆円の追加予算を支出することとなりました。今度こそ不良債権処理を完了して改革を達成したいものです。この苦しい時期を耐え抜けば、この鍛えられた精神力は将来のために大いに役立つことでしょう。

日本建設機械化協会としては、建設施工技術と建設機械の開発を行い、安全対策と工事費の低減に努めてきましたが、今後も一層の努力が期待されています。

また排気ガス規制など地球規模の環境対策は、人類生存のため最も重要な課題であり、IT や新材料の問題とともに、新技術開発の中心として本年も取り組んでいきたいと思っております。

昨年来、当協会としては、部会の統廃合、企画部

の設置など、組織の強化により、新しい課題への対応を図ってまいりました。研究所の名前も施工技術総合研究所に変更して、きめの細かい事業の展開をはかってまいりたいと考えています。今年はいこれらの新体制を定着させる時期でもあります。一層の努力をいたす所存です。

また、従来から続けてまいりました建設生産システムの研究成果を取りまとめ、将来への協会の Vision をまとめる年でもあります。会員一同の知恵を結集してつくりあげるつもりです。

新しい年の行事としては、早速 1 月 30 日から 2 日間、小松市において、除雪機械の展示会があります。恒例の CONET も今年開かれる年ですが、経済不況の時期ですが、知恵を絞り、工夫をして建設施工技術にも重点をおき、内容を魅力あるものとして、9 月 4 日から 6 日まで、幕張メッセで開催する予定です。

その他、日本建設機械要覧作成の年にもあたり、利用者が使いやすく、便利なような内容と検索方法を考えた図書にする予定です。

本年も現下の不況をはね返すべく、会員皆様のご協力とご努力をお願いする次第です。一層のご健康とご活躍を祈ります。

——たまみつ ひろあき 社団法人日本建設機械化協会会長——